

(様式第9)

名大医総第138号
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

名古屋大学医学部附属病院
松尾清

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告しま
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 30人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 241人 | 237人 | 424.5人 | 看護業務補助 | 18人 | 診療エックス線技師 | 人 |
| 歯科医師 | 6人 | 15人 | 18.0人 | 理学療法士 | 9人 | 臨床検査技師 | 62人 |
| 薬剤師 | 42人 | 10人 | 49.5人 | 作業療法士 | 5人 | 衛生検査技師 | 2人 |
| 保健師 | 人 | 人 | 人 | 視能訓練士 | 4人 | その他 | 人 |
| 助産師 | 15人 | 人 | 15.0人 | 義肢装具士 | 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 人 |
| 看護師 | 711人 | 16人 | 723.0人 | 臨床工学技士 | 8人 | 医療社会事業従事者 | 5人 |
| 准看護師 | 3人 | 1人 | 3.7人 | 栄養士 | 人 | その他の技術員 | 2人 |
| 歯科衛生士 | 1人 | 人 | 1.0人 | 歯科技工士 | 1人 | 事務職員 | 143人 |
| 管理栄養士 | 4人 | 人 | 4.0人 | 診療放射線技師 | 47人 | その他の職員 | 7人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|-------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 794.0人 | 14.3人 | 808.3人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 2,097.5人 | 71.0人 | 2,168.5人 |
| 1日当たり平均調剤数 | | | 1,025.5剤 |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|--------------------------------------------|-----|--------|
| ・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術 | 有・無 | 人 |
| ・培養細胞による先天性代謝異常診断 | 有・無 | 人 |
| ・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法 | 有・無 | 人 |
| ・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法 | 有・無 | 人 |
| ・人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・無 | 人 |
| ・人工中耳 | 有・無 | 人 |
| ・実物大臓器立体モデルによる手術計画 | 有・無 | 0人 |
| ・性腺機能不全の早期診断法 | 有・無 | 人 |
| ・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む) | 有・無 | 人 |
| ・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定 | 有・無 | 人 |
| ・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法 | 有・無 | 人 |
| ・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断 | 有・無 | 人 |
| ・焦点式高エネルギー超音波療法 | 有・無 | 人 |
| ・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 | 有・無 | 人 |
| ・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査 | 有・無 | 人 |
| ・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・SDI法による抗がん剤感受性試験 | 有・無 | 人 |
| ・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | 有・無 | 人 |
| ・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・家族性アミロイドーシスのDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・三次元形状解析による顔面の形態的診断 | 有・無 | 人 |
| ・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断 | 有・無 | 人 |
| ・抗がん剤感受性試験 | 有・無 | 0人 |
| ・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・不整脈疾患における遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腹腔鏡下肝切除術 | 有・無 | 人 |
| ・画像支援ナビゲーション手術 | 有・無 | 人 |
| ・悪性腫瘍に対する粒子線治療 | 有・無 | 人 |
| ・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術 | 有・無 | 人 |
| ・成長障害のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・生体部分肺移植術 | 有・無 | 人 |
| ・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 | 有・無 | 人 |
| ・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術 | 有・無 | 人 |
| ・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 | 有・無 | 人 |
| ・声帯内自家側頭筋膜移植術 | 有・無 | 人 |
| ・骨髄細胞移植による血管新生療法 | 有・無 | 人 |
| ・ミトコンドリア病のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・無 | 69人 |
| ・鏡視下肩峰下腔徐圧術 | 有・無 | 人 |

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|-----------------------------------------------|-------|--------|
| ・神経変性疾患のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・脊髄性筋萎縮症のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 有・無 | 人 |
| ・固形がんに対する重粒子線治療 | 有・無 | 人 |
| ・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 | 有・無 | 人 |
| ・カフェイン併用化学療法 | 有・無 | 人 |
| ・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断 | 有・無 | 人 |
| ・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・胎児尿路・羊水腔シャント術 | 有・無 | 人 |
| ・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 | 有・無 | 人 |
| ・重症BCG副反応症例における遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建 | 有・無 | 人 |
| ・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術 | 有・無 | 人 |
| ・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| ・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療 | 有・無 | 人 |
| ・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・エキシマレーザー冠動脈形成術 | 有・無 | 人 |
| ・活性化Tリンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| ・抗がん剤感受性試験(CD-DST法) | 有・無 | 人 |
| ・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 | 有・無 | 人 |
| ・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療 | 有・無 | 人 |
| ・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 | 有・無 | 人 |
| ・内視鏡下甲状腺がん手術 | 有・無 | 人 |
| ・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 | (有)・無 | 1人 |
| ・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 | 有・無 | 人 |
| ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 | 有・無 | 人 |
| ・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法) | 有・無 | 人 |
| ・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 | 有・無 | 人 |
| ・活性化血小板の検出 | 有・無 | 人 |
| ・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・無 | 人 |
| ・ケラチン病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療 | 有・無 | 人 |
| ・末梢血単核球移植による血管再生治療 | 有・無 | 人 |

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|-------------------------------------------------|-----|--------|
| ・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法 | 有・無 | 人 |
| ・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断 | 有・無 | 人 |
| ・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術 | 有・無 | 人 |
| ・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 | 有・無 | 人 |
| ・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| ・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |

| 高度先進医療の種類(歯科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|---------------------------------------------|-----|--------|
| ・インプラント義歯 | 有・無 | 27人 |
| ・顎顔面補綴 | 有・無 | 人 |
| ・顎関節症の補綴学的治療 | 有・無 | 人 |
| ・歯周組織再生誘導法 | 有・無 | 人 |
| ・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定 | 有・無 | 人 |
| ・光学印象採得による陶材歯冠修復法 | 有・無 | 人 |
| ・エックス線透視下非観血的唾石摘出術 | 有・無 | 人 |
| ・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法 | 有・無 | 人 |
| ・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術 | 有・無 | 人 |
| ・顎関節脱臼内視鏡下手術 | 有・無 | 人 |
| ・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法 | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 承認 | 取扱い患者数 |
|----------------------------|-----|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・無 | 人 |
| 自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH) | 有・無 | 人 |
| 画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術 | 有・無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療 | 有・無 | 人 |
| 強度変調放射線治療 | 有・無 | 人 |
| 胎児心超音波検査 | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 有・無 | 人 |
| 画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術 | 有・無 | 人 |
| インプラント義歯 | 有・無 | 人 |
| 顎顔面補綴 | 有・無 | 人 |
| 人工中耳 | 有・無 | 人 |
| 歯周組織再生誘導法 | 有・無 | 人 |
| 抗がん剤感受性試験 | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝切除術 | 有・無 | 人 |
| 生体部分肺移植術 | 有・無 | 人 |
| 活性化血小板の検出 | 有・無 | 人 |
| 末梢血幹細胞による血管再生治療 | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 承認 | 取扱い患者数 |
|-------------------------------------------|-----|--------|
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 | 有・無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 超音波骨折治療法 | 有・無 | 人 |
| 眼底三次元画像解析 | 有・無 | 人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 | 有・無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 | 有・無 | 人 |
| X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 | 有・無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 | 有・無 | 人 |

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 39人 | ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症) | 24人 |
| ・多発性硬化症 | 43人 | ・ウェグナー肉芽腫症 | 2人 |
| ・重症筋無力症 | 66人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 50人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 180人 | ・多系統萎縮症 | 23人 |
| ・スモン | 8人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 2人 |
| ・再生不良性貧血 | 72人 | ・膿疱性乾癬 | 3人 |
| ・サルコイドーシス | 73人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 3人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 38人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 31人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 173人 | ・重症急性膵炎 | 3人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 70人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 81人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 10人 | ・混合性結合組織病 | 7人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 238人 | ・原発性免疫不全症候群 | 9人 |
| ・大動脈炎症候群 | 39人 | ・特発性間質性肺炎 | 5人 |
| ・ピュルガー病 | 42人 | ・網膜色素変性症 | 33人 |
| ・天疱瘡 | 13人 | ・プリオン病 | 4人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 30人 | ・原発性肺高血圧症 | 1人 |
| ・クローン病 | 157人 | ・神経線維腫症 | 23人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 58人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 1人 |
| ・悪性関節リウマチ | 4人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 3人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 182人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 0人 |
| ・アミロイドーシス | 8人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 2人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 21人 | ・副腎白質ジストロフィー | 0人 |
| ・ハンチントン病 | 4人 | | |

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 14回 | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数39例 | 剖検率10.2% |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--------------------------------------------------|-------|--------------|------------|------------|
| テロシンキナーゼ阻害剤の至適併用療法を予測するサロゲートマーカーの確立 | 清井 仁 | 難治感染症部 | 4,700,000 | 補委 文部科学省 |
| DISC1結合蛋白を標的とした統合失調症の病態研究 | 尾崎 紀夫 | 精神科 | 4,400,000 | 補委 文部科学省 |
| アストロサイト・オリゴデンドロサイト関連遺伝子を標的とした精神障害の病態研究 | 尾崎 紀夫 | 精神科 | 3,000,000 | 補委 文部科学省 |
| 精神行動障害の発症過程における神経グリア細胞の機能的役割 | 鍋島 俊隆 | 薬剤部 | 3,000,000 | 補委 文部科学省 |
| 前駆細胞移植による血管再生療法の分子基盤探索と新規臨床応用に向けた展開研究 | 室原 豊明 | 循環器内科 | 7,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 尿細管間質障害の新たなバイオマーカー及び治療標的としてのミッドカインの基礎的研究 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | 10,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 眼皮膚白皮症を呈する疾患の病態および病因遺伝子産物の機能解析 | 鈴木 民夫 | 皮膚科 | 6,576,290 | 補委 日本学術振興会 |
| siRNAを用いた新しい遺伝子治療戦略—炎症制御による血管内膜肥厚抑制効果— | 古森 公浩 | 血管外科 | 8,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳腫瘍高発現分子合成ペプチドによる賦活化樹状細胞を用いた標的細胞療法の臨床応用 | 若林 俊彦 | 遺伝子・再生医療センター | 10,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| イメージング機能付ナノデバイスリボソームを用いた分子医療開発と臨床試験への展望 | 水野 正明 | 脳神経外科 | 9,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 発達・加齢・遺伝性網脈絡膜疾患の病態解明と新しい治療 | 寺崎 浩子 | 眼科 | 10,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 組織工学的手法をくみこんだ骨延長法による下顎骨再建 | 日比 英晴 | 遺伝子・再生医療センター | 2,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アジア系人種における腎機能評価のための国際学術調査研究 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | 6,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 情動とストレス反応性の脳科学 | 飯高 哲也 | 精神科 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 日本の医学部教育における6年間統合型行動科学教育プログラムの開発に関する研究 | 鈴木 富雄 | 総合診療部 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 悪性腫瘍、神経変性疾患でのスフィンゴシンキナーゼの発現異常の解析と病態での意義 | 村手 隆 | 検査部 | 2,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 気管支喘息の遺伝子診断のための基礎的研究 | 川部 勤 | 検査部 | 2,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 共焦点内視鏡を用いた胃病変のリアルタイム組織診断と背景粘膜に関する研究 | 丹羽 康正 | 消化器内科 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 慢性肝炎発症におけるイオン・水チャネルの役割 | 洪 繁 | 消化器内科 | 2,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| PPAR γ アゴニストおよびMMP阻害薬による心筋線維化抑制作用と不整脈抑制作用 | 因田 森也 | 循環器内科 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アマメンバ抽出物を用いた閉塞性細気管支炎発症機序の解明 | 今泉 和良 | 呼吸器内科 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心筋梗塞、脳梗塞におけるストレス応答性向血栓遺伝子の発現機構の解明とその制御 | 山本 晃士 | 輸血部 | 2,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 白血病の発症、進展に及ぼすNucleop h osmin 遺伝子変異の分子機構の解析 | 清井 仁 | 難治感染症部 | 2,100,000 | 補委 日本学術振興会 |

| | | | | | |
|--------------------------------------------|-------|---------------------|------------|----|---------|
| 悪性リンパ腫におけるマイクロRNAの発現意義 | 鈴木 律朗 | 造血細胞移植情報管理学 寄附講座 | 2,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 小児期EBウイルス関連疾患におけるEBNA1 特異的細胞性免疫応答の研究 | 伊藤 嘉規 | 小児科 | 1,800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 膵胆管の診断における16列マルチスライスCTの三次元画像の最適化と有用性の評価 | 伊藤 茂樹 | 放射線科 | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 熱ショックタンパクをターゲットとした悪性腫瘍に対する温熱治療の研究 | 菊森 豊根 | 画像情報外科学寄附講座 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 癌幹細胞を標的としたヒト乳癌治療法の開発 | 小田 高司 | 乳腺・内分泌外科 | 1,900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 胆管閉塞時にみられるバイエル板萎縮のメカニズムについて | 横山 幸浩 | 乳腺・内分泌外科 | 1,800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| マクロとミクロから見た急性尿管管壊死の病態解明、治療 | 山本 徳則 | 泌尿器科 | 2,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 子宮体癌の新規予後規定分子IDOの同定・機能解析に基づくオーダーメイド治療の開発 | 井篭 一彦 | 産婦人科 | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 睡眠時の鼻呼吸閉塞に対する病態生理的解明 - nasal cycle の検討 - | 中田 誠一 | 耳鼻咽喉科 | 2,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 網膜色素変性の中型モデル動物(ロドプシン遺伝子変異ウサギ) 作出と視機能解析 | 近藤 峰生 | 眼科 | 2,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 肝細胞増殖因子(HGF)によるポリグルタミン病の治療開発 | 足立 弘明 | 神経内科 | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 器質的および機能的胃腸症における胃の痛みのメカニズムの解析 | 尾崎 紀之 | 解剖学 | 2,900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 化学発癌が疑われるインドの胆嚢癌の発生機序の解明と早期診断に関する国際共同研究 | 小田 高司 | 乳腺・内分泌外科 | 3,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 詳細な人体解剖情報を加えた、新しい筋骨格コンピュータモデルによる関節運動の解析 | 木山 喬博 | 理学療法 | 3,300,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 遺伝改変マウスを用いた、新規アクチン結合蛋白とそのファミリーの解析 | 浅井 直也 | 分子病理学 | 1,800,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 組織心理学的アプローチによる医療リスク発生要因の解明 | 山内 一信 | 医療管理部 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 臨床判断能力を涵養する外来診療教育プログラム開発 | 伴 信太郎 | 総合診療部 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省 |
| HSP90阻害剤、17-AAGによる神経変性疾患の分子標的治療 | 祖父江 元 | 神経内科 | 3,300,000 | 補委 | 文部科学省 |
| アールエヌエー編集障害により発症する遺伝性対側性色素異常症の病態解析 | 鈴木 民夫 | 皮膚科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| インシリコ分子設計法によるアポトーシス抑制因子を標的とした脳腫瘍分子治療薬の開発 | 丸田 英晴 | 脳神経外科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省 |
| Midkine RNA interference 関節内投与による関節炎治療 | 石黒 直樹 | 整形外科 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 軸索伸長速度を調整するマスター遺伝子の決定とそれを活用した軸索再生促進 | 平田 仁 | 手の外科 | 1,800,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 骨粗鬆症に対する幹細胞を用いたアンチエイジング治療法の開発 | 山田 陽一 | 遺伝子・再生医療センター | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 上皮間葉転換に基づく細胞膜型ペプチド分解酵素を分子標的とした卵巣癌腹膜転移の抑制 | 梶山 広明 | 産婦人科 | 13,500,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 白血病関連遺伝子産物のPMLアセチル化の意義 | 早川 文彦 | 血液内科 | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省 |
| DFS70/LEDGF抗原の表皮細胞と皮膚疾患における役割について | 杉浦 一充 | 皮膚科 | 2,100,000 | 補委 | 文部科学省 |
| イノシン特異的mRNA切断によるADAR1 基質同定と遺伝性対側性色素異常症病態解明 | 河野 通浩 | 皮膚科 | 2,300,000 | 補委 | 文部科学省 |

| | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|-------------|----|-----------|
| 悪性胸膜中皮腫の細胞生物学的解析と新規治療戦略の開発 | 宇佐美 範恭 | 呼吸器外科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 外科的血管吻合に対する薬剤溶出性縫合糸、薬剤溶出性シートの開発及び基礎的研究 | 横手 淳 | 心臓外科 | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省 |
| Nucleofectionによる神経栄養因子遺伝子導入骨髄細胞を用いた神経再生 | 酒井 義人 | 整形外科 | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 幹細胞移植モザイク作成による上肢先天異常の治療 | 建部 将広 | 手の外科 | 2,500,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 磁性ナノ粒子と磁力を用いた再生医療のための培養組織移植システムの開発 | 浅見 哲 | 眼科 | 2,100,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 加齢黄斑変性に対する光線力学療法における機能形態的解析 | 石川 浩平 | 眼科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 大網の創傷治癒における役割 | 八木 俊路朗 | 形成外科 | 2,100,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 口腔粘膜由来線維芽細胞を用いた細胞治療のための基礎的研究 | 蛭沢 克己 | 歯科口腔外科 | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省 |
| ヒト胎盤形成における糖転移酵素GnT-Vの機能と絨毛外栄養膜細胞浸潤機構の解明 | 山本 英子 | 産婦人科 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 糖尿病性腎症に対する新規創薬ターゲットの同定：網羅的Pathway・転写機構解析 | 安田 宜成 | 腎臓内科 | 1,380,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討 | 井口 昭久 | 老年科 | 7,412,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討 | 井口 昭久 | 老年科 | 11,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御、予防研究 | 磯部 健一 | 免疫学 | 12,022,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 再生医療の実用化の安全性・効率性に関する基盤技術の整備 | 上田 実 | 歯科口腔外科 | 16,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 医師主導型治験の実施に関する研究〔アルガトロバン〕 | 上田 裕一 | 心臓外科 | 2,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症、及び、他の細胞外マトリックス分子欠損症におけるタンパク標的療法の高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて | 大野 欽司 | 神経遺伝情報学 | 16,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発 | 葛谷 雅文 | 老年科 | 17,495,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発 | 後藤 百万 | 泌尿器科 | 4,480,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 老化に伴う神経変性疾患の長期縦断疫学研究：ALSについて | 祖父江 元 | 神経内科 | 11,375,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究 | 祖父江 元 | 神経内科 | 18,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究 | 祖父江 元 | 神経内科 | 122,422,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 運動ニューロン変性に関わる分子の同定と病態抑制治療法の開発 | 祖父江 元 | 神経内科 | 38,462,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 治験の実施に関する研究〔酢酸リユープロレリン〕 | 祖父江 元 | 神経内科 | 5,500,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究 | 高松 純樹 | 輸血部 | 4,900,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証 | 武澤 純 | 救急・集中治療医学 | 4,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 依存性薬物および未規制薬物による神経毒性と精神病の発現機序に関する研究 | 鍋島 俊隆 | 薬剤部 | 1,500,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 手術成績予測法を用いた外科治療質改善システムの開発 | 二村 雄次 | 腫瘍外科 | 5,500,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |

| | | | | | |
|---------------------------------------------------------|-------|----------|------------|----|----------------|
| 医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究 | 山内 豊明 | 保健学科 | 3,000,000 | 補委 | 厚生労働科学研究費 |
| 不妊に悩む男女の実際に関する調査研究 | 岩瀬 明 | 産婦人科 | 5,307,000 | 補委 | 愛知県 |
| 再発乳癌を対象としたハーセプチン固定化マグネトリポソームと交番磁場照射装置を用いた温熱免疫療法の第1相臨床試験 | 今井 常夫 | 乳腺・内分泌外科 | 16,300,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究 | 梅垣 宏行 | 老年科 | 1,300,000 | 補委 | 国立長寿医療センター |
| 実験動物実験モデルを用いたVEGF-Eによる血管新生研究 | 室原 豊明 | 循環器内科 | 6,000,000 | 補委 | 独立行政法人医薬基盤研究所 |
| 変異チロシンキナーゼを標的とした白血病治療薬の開発 | 直江 知樹 | 血液内科 | 80,000,000 | 補委 | 独立行政法人医薬基盤研究所 |
| BMP付加細胞外マトリックスを用いた新たな骨再生法 | 上田 実 | 歯科口腔外科 | 12,000,000 | 補委 | 独立行政法人科学技術振興機構 |
| 心臓血管外科手術周術期における輸血療法の効率化、適正化に関する研究 | 上田 裕一 | 心臓外科 | 2,000,000 | 補委 | 国立循環器病センター |
| 臍帯血由来前駆細胞を用いた、血管再生に関する研究 | 室原豊明 | 循環器内科 | 2,500,000 | 補委 | 国立循環器病センター |
| 水・イオン輸送障害による代謝性疾患の病態解明及び薬物療法の開発 | 成瀬達 | 消化器内科 | 1,000,000 | 補委 | 国立成育医療センター |
| 認知症高齢者の住宅サービスの質の尺度としてのアウトカム指標の開発 | 道勇 学 | 神経内科 | 1,500,000 | 補委 | 国立長寿医療センター |
| タンパク質高次構造形成と機能発現(白血病にかかわるヌクレオソミンの構造と機能に関する研究) | 直江 知樹 | 血液内科 | 4,000,000 | 補委 | 文部科学省 |

計 12

合計 89